

会 議 録

会議の名称	第4回茨木市総合計画審議会
開催日時	令和元年9月27日(金) (午前・ 午後) 6時30分 開会 (午前・ 午後) 7時25分 閉会
開催場所	市役所南館10階 大会議室
会 長	久 隆浩
出席者	〔 委 員 〕 森本 康嗣 <div style="text-align: right;"><以上、市民 1人></div> 今西 幸蔵、肥塚 浩、新野 三四子、豊田 祐輔、 久 隆浩 <div style="text-align: right;"><以上、学識経験者 5人></div> 長田 佳久、木村 正文、福井 紀夫 <div style="text-align: right;"><以上、関係団体から推薦された者 3人></div> 稲葉 通宣、岩本 守、上田 嘉夫、河本 光宏、畑中 剛 <div style="text-align: right;"><以上、市議会から推薦された市議会議員 5人> 【14人・五十音順・敬称略】</div>
欠席者	山田 理香 【1人】
事務局職員	河井副市長、井上副市長、秋元企画財政部長、 上田市民文化部長、北川健康福祉部長、 岸田都市整備部長、乾教育総務部長、加藤学校教育部長、 福井都市整備部次長、岩崎政策企画課長、足立財政課長 <div style="text-align: right;">【11人】</div>
開催形態	公開

議題（案件）	<ul style="list-style-type: none"> 1 開会 2 これまでの審議のまとめ 3 都市構造について 4 財政計画について 5 閉会
配布資料	<p>（配布資料）</p> <p>会議次第</p> <p>資料1 これまでの審議内容一覧表</p> <p>資料2 都市構造について</p> <p>資料3 財政計画について</p> <p>資料4 ご意見・ご質問表に対する対応案（事務局案）</p>
傍聴人	1人

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>1 開会</p> <p>それでは、茨木市総合計画審議会を開会したい。 会議次第に沿い、議事を進行させていただきたい。概ね8時30分を目途に会議を終了したい。 なお、1回目に決定したとおり、会議は公開としている。 それでは最初に、事務局から本日の出席状況について報告願いたい。</p>
岩崎課長	<p>出席状況である。本日は委員総数15人中、14人にご出席いただいているので、審議会規則第6条第2項の規定により、会議は有効に成立している。</p>
久会長	<p>定数を満たしているとのことなので、会議をこのまま進行する。</p>
久会長	<p>2 これまでの審議のまとめ</p> <p>それでは、本日の会議案件としてお示ししているとおりに「これまでの審議のまとめ」について、そして「都市構造」「財政計画」の審議を行いたい。 まず、「これまでの審議のまとめ」について審議を行いたいと思うので、資料1について事務局から説明願いたい。</p>
岩崎課長	<p>それでは、資料1「これまでの審議内容一覧表」をご覧いただきたい。こちらの資料についての説明だが、これまで第1回から第3回までの間に事前提出いただいたご意見、あるいは、審議会の中で出たご意見の中で、市としての対応をお示しできていないものについて、その対応案を記載したものとなっている。例えて言うと、審議会の中で「こういった文言を入れるべきではないか。」というご意見の中で、「その方向で検討します。」と回答していたものを具体的にどのように入れるかをまとめている。したがって、審議の中で、「何ページのどこどこにこういう形で入れます。」といった、対応をしっかりと示したのものについては、こちらには載せていない。</p> <p>全部で60項目あるので説明については割愛するが、事前にも送らせていただいたものとは別に、委員の皆さまごとにいただいた意見を抜粋したものをお手元に配布しているので、そちらを確認願えればと思う。説明は以上である。</p>
久会長	<p>ただいま説明のあった対応案について、または1章から7章までの中でさらに追加でご意見ご質問はあるか。</p>
今西委員	<p>51～52ページにかけて「成人教育」という言葉が使われている。51ページの施策内容の取組みの3-1-3「成人教育の推進」、52ページの下の方に同じ項目がある。「成人教育」という言葉は決して間違えてはいないが、教育という言葉を考え</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
岩崎課長	た時に住民の側に主体があると考えた場合、少し、言葉として違和感がある。提案だが、ここは「成人の学習」と直してはどうか。
久会長	事務局としては問題ない。そのように変更する。
久会長	他いかがか。よろしいか。
久会長	3 都市構造について それでは続いて、「都市構造について」事務局より、まずは説明いただきたい。
福井次長	資料2「6 都市構造における後期基本計画への反映内容について」に基づき、今回追加・修正する内容を説明したい。 なお、追加・修正の内容については、6の都市構造の123ページに反映していくとともに、目指す地域イメージは124ページに記載している。 まず、都市構造については、後期基本計画と並行して都市計画審議会で検討を進めている都市計画マスタープランの施策中間見直しにおいて、事業の進捗状況や今後の都市づくりの方向性等を踏まえ、追記・修正を行っている。なお、「6 都市構造」の(1)「本市における都市構造・土地利用の考え方」については、計画的に都市づくりを行っていく上での基本的な考え方になり、後期基本計画においても継承すべきものと捉えているため、変更は行わない。 それでは、「1 都市構造図の修正について」上から順に説明する。まず、彩都東部地区については、事業進捗等を踏まえ土地区画整理事業が進められている先行地区を「産業集積地域」、その他の事業化に向けて検討を進めている地区を「立地ポテンシャルを活かした土地利用の検討エリア」に変更している。 新名神高速道路については、平成29年に開通したことに伴い、計画路線から整備済み路線に変更している。 大阪モノレールについては、彩都中部・東部地区への延伸計画が廃止となったことに伴い、計画路線、計画駅を削除している。なお、大阪府等と連携して都市計画道路 茨木箕面丘陵線の整備促進、バス路線としての活用を引き続き検討していく。都市計画道路 山麓線については、既に開通している区間と今年度中に開通を予定している区間を、計画路線から整備済み路線に変更している。 東芝工場跡地におけるまちづくりだが、これは事前に配布した資料では記載していなかったが、その後の検討の中でこのまちづくりが文教、商業、住居機能等を一体的に整備するまちづくりが進められていることを踏まえ、生活拠点として追加することとしている。なお、生活拠点とは、徒歩または自転車利用を想定した生活圏域の暮らしを支える購買・サービス機能が一定程度備わっている地域をイメージしている。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>また、この地区では、追手門学院大学の総持寺キャンパスが開学したことから、大学が立地するエリアとして追加している。</p> <p>中心市街地においては、市民会館跡地エリア活用および元茨木川緑地リ・デザインという新たな拠点形成に向けた取組が進んでいることから、特にこの市役所周辺を本市の魅力・強みを活かす新たな拠点として追加している。</p> <p>最後に、南目垣・東野々宮地区については、今月20日に市街化区域編入等の都市計画手続きを終える等、幹線道路沿道の産業立地ポテンシャルを活かした都市的土地利用に向けた取組が進んできていることから、「産業集積地域」に変更している。</p> <p>次のページ「2 目指す地域イメージの追記・修正について」説明する。まず、1の「中心市街地（都市拠点）」については、都市的な要素に加えて「自然・文化的な要素」にも恵まれているという本市の中心市街地の特徴を明記するとともに、市民会館跡地エリアを中心に、中心市街地全体で多様な主体による出会い・活動、滞在・回遊が生まれるような地域を目指すことを追記している。</p> <p>次に3の「北部地域」については、市街地と北部地域の結節点に位置する安威川ダム周辺において、山とまちをつなぐ北部地域活性化に向けた「ハブ拠点」の形成を目指すことを追記している。</p> <p>次に4の「産業集積地域」については、幹線道路沿道の立地ポテンシャルを活かした企業立地を促進していくにあたり、周辺環境に配慮したものとなるよう誘導を図ることを追記している。なお、「流通業等」という記載については、流通業に重点・特化した検討を行っているわけではないため、広く「産業系」という表記に修正している。</p> <p>最後に5の「一団の住宅地」については、人口減少社会においても将来にわたって暮らしやすい環境を維持・充実していくため、地域住民が主体的に地域課題の解決に向けて取り組むことを追記している。</p> <p>その他、2の「地域拠点・生活拠点」、6の「市街地に隣接したみどり」については、現状の目指す地域イメージを継承しつつ、その実現に向けた施策の充実を図っていく考えであるため、追記・修正は行っていない。説明は以上である。</p>
久会長	<p>いかがか。「都市構造」に関して、何かご質問ご意見はあるか。</p>
河本委員	<p>既に意見出しをさせていただいているが、資料2の1ページの最初の図である。安威川ダムは関連事業を含めて今後の大きな変更点になると思うが、ここに安威川ダムの図が入っているのでここは特に書き加えないということだが、比較的目立つところでもあるので、安威川ダムの周辺事業に関して書き加えていただくと、目立って意識に入りやすいと思ったが、どうか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福井次長	<p>都市構造図自体は、本市の都市づくりを進めていく上での骨格となる基盤施設であるとか、拠点形成とか、そういう大きなものを位置付けていくということで、まずその位置付けがあって、どういう取組をするのかは、総合計画の中では色々な施策を記述しているというところである。また、その内容を踏まえて都市計画のマスタープランのほうでも施策としての取組は記載している。都市構造図はこのままの形でお願いしたいと思う。</p>
久会長	<p>都市構造という側面とそれぞれの事業という側面で、場所を書き分けているということだが、よろしいか。</p> <p>他にあるか。</p>
稲葉委員	<p>1点確認しておきたい。資料2の123ページから124ページにかけて、都市構造図のところでは124ページの「②地域拠点・生活拠点」という項目がある。この中の生活拠点の定義についてだが、「徒歩または自転車利用を想定した圏域」と定められている。左の都市構造図の中に生活拠点に何点か丸が、豊川駅周辺や沢良宜駅、あるいは、若園ほか色々丸を付けてあると思う。ほとんどが平地の地域に丸をしてあると思う。私が住んでいる地域は山手台だが、山手台の中にも丸を付けてあるが、ご存知のとおりここは丘陵地帯で基本的な生活手段は自動車やバイクといったところが一般的な地域である。地域内に多くの坂道があり、さらには交通の結節点から400～500m離れた家々や地域もある。こうした、いわゆるラストマイル問題と言われるところについても、地域の重要な課題としてまちづくり協議会で地域交通施策の展開にも積極的に取り組んでいるという事情がある。このことから、この「生活拠点」の定義である「徒歩または自転車利用を想定」と表現されると、こうした地域交通対策の推進について、若干私は不安を感じてしまうのだが。確認として、あくまでこの「生活拠点」という文言の定義上として「徒歩または自転車利用を想定する圏域」と記述してあるだけで、そういった地域交通施策についてはまた別の話題である。そうした施策については、それはそれで推進していくという理解でよろしいか。</p>
福井次長	<p>委員がおっしゃるとおりで、「生活拠点」は生活の身近な範囲で暮らしを支える機能が一定充足されている地域のイメージということで「徒歩または自転車利用を想定」というような記載内容になっているところである。地域によってそれぞれ課題があると考えており、当該地域においては地域交通対策の推進が課題であるということは認識しており、その課題解決に向けて地域の皆さまとのネットワークづくりを今まさに始めたところなので、委員がおっしゃっているような内容のとおりと考えている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>もう少しイメージを具体的にすれば、既に山手台には丸が付いている、そういうものを今後もしっかりと生活拠点として施設として機能を充実させながら、交通経路は先ほどご指摘いただいたように、移動手段は移動手段としてのところでしっかりと整備していくと。このようにご理解いただければと思う。</p> <p>他いかがか。</p>
河本委員	<p>既に意見出しをしているが、120ページの右の図の中だが、「知的資源」と言うところまでからあるような例えば文化財、史料館といったところもよく活用されていることから記入されてはどうかと思ったが、それは分類が違うというような回答である。できれば、「知的資源」のところに括弧書きでどういう形のものかを書いていただければと思うが、いかがか。</p>
福井次長	<p>「知的資源」のイメージというものを、委員ご指摘の内容について書き込むかどうか検討していきたい。</p>
久会長	<p>注釈だと詳細は書けると思うが、あまり中に書き込んでしまうとまた饒舌な文章になるかと思う。既にここでは「大学やライフサイエンス分野の学術研究機関など多くの知的資源が立地し～」という文章を、この図で書いていただいていると理解してもらえれば、もうここで既に説明しているということでも取られる。そのあたり、追加の説明が要るのかも含めて、もう一度事務局の中でご検討いただければと思う。</p>
河本委員	<p>3つ目のところで指摘させていただいているが、123ページの図の中で、例えばネットワークの観点から野外活動センターとかそういうところも追記されてはどうかということで、ここでは交流拠点に位置付けられているということで茶色の丸があるが、ほとんどの丸のところには何らかの名称も入っているので、できれば茶色のところの何か名称を書いておいていただくと、これは何であるかがわかりやすいと思ったが、いかがか。</p>
福井次長	<p>山間部とか北部地域だけでなく、南側のほうも場所は明記していない。そこまでここに落とし込むと、図が煩雑になってわかりづらいということがあり、この都市構造図のほうでは割愛したいと思っている。ただ、これの基になる都市計画マスタープランのほうではこの都市構造の区分ごとの記述もあり、その中では地名等は落としている。都市構造全体の中では地名等を入れるのは割愛したい。</p>
久会長	<p>それこそ、その一文はどこかに入れておいていただいても良いかと思うが。「詳細は都市計画マスタープランを参照のこと」とか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>他いかがか。よろしいか。</p> <p>先ほど名前が出たが、今、都市計画マスタープランを並行して改定中であり、そちらは都市計画審議会で審議をさせていただいているので、もし都市計画審議会のほうで都市計画マスタープランの都市構造図に大きく変更があるということになれば、事務局と私のほうで調整をさせていただき、パブリックコメント（案）に反映させていただきたいと思う。</p> <p>4 財政計画について</p> <p>それでは続いて、「財政計画」の審議に移りたい。事務局から説明願いたい。</p>
足立課長	<p>資料3、下のページで言うと126ページから134ページと約10ページになっており、後期基本計画反映にあたって追記・修正する内容について、概要を説明したい。</p> <p>まず財政計画については、少子高齢化の進展等、厳しい財政状況の中でも行政の使命として将来にわたる市民サービスの充実を図るため、中長期の財政収支見通しを立てながら、現在の財政運営に向けた取組の方向性を示したものとなっている。総合計画の目的や基本構想の実現と基本計画の諸施策の推進ということになるが、財政計画はその目的達成のために不可欠となる健全財政の取組の方向性を示したものとなっている。これまで進めてきた財政計画の取組の構成については大きく変えていないが、数字等があるので近年の決算額等も含めて修正を行っている。なお、後ほど説明するが、前期基本計画で取り組んできた内容については、その評価等について改めて入れている。</p> <p>まず、126ページであるが、赤字のほうを追記・修正した内容になっている。まず上段で赤字で入れているところは、前期計画において「はじめに」というところで全体を通して国・地方の財政状況を入れている記載があったので、関連する部分なのでこちらのほうに移して導入部分として使っている。</p> <p>その後（1）「茨木市の財政の現状」「①本市の財政規模」これは126ページから127ページにかけて歳入、歳出、経常収支比率、また市債残高等の各指標等を示している。これについては数字等があるので、近年の推移や傾向を踏まえてまき直しさせていただいている。グラフがそれぞれあるが、直近の5年間と平成19年、これは三位一体の改革で税制改正が行われ、概ね近年の税体系となったことから平成19年基準として示している。</p> <p>続いて、今後10年間の財政の見通しを入れている。その前提条件と内容の説明を128ページ、129ページでしており、130ページが今後10年間を見通すにあたっての計画となっている。130ページをご覧ください、財政計画の構成としてはまずA「経常事業」ということで、普段の行政活動の部分で歳入・歳出を記載している。歳入については、市税なり交付税、市債（臨時財政対策債）の部分を追記し</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ている。また、歳出については、人件費、社会福祉経費、公債費のあたりが中心の経費となるが、歳入では近年の税制改正、補助金等のところ、また歳出についても近年の決算額を踏まえて今後の表記等を推計し直している。Aのところ「経常収支①-②-③」、経常的な行政活動での収支で、財源が出てきている。ここの財源をもって、B、C、Dという、いわゆる政策事業に係る部分、市民サービスに直結するような事業を展開する財源を使っていき、そこから引いていく形になっている。そういう構成になっている。</p> <p>Bというのが「政策事業」ということになるが、ここでは今必要なサービスの充実、また、将来活力あるまちの発展に資する新規拡充事業ということで、ソフト事業、ハード事業、または主要プロジェクト事業等の概要について、現在進行している事業の今後の見込み等を踏まえて再推計している。これらの大きな主要プロジェクト事業については、前期計画では立命館大学周辺の整備であったり、JR茨木駅舎の整備であったり、新名神関連が進んでいたが、近年ではJR総持寺駅が開業して周辺整備で進んでいる内容や、今後は市民会館の跡地活用事業、安威川ダム周辺整備事業、また、環境衛生センター、ゴミ処理施設の長寿命化事業等を予定しているので、そういうところの事業費を含めて推計している。そういった市民サービス直結事業を展開していく結果、130ページの一番下にマイナス表記になっており、収支不足に陥る状況が見込まれるとこの段階ではなっている。</p> <p>それを踏まえ131ページから、将来を見据えてどう取り組んでいこうかという方向性を示している。(3)のところになるが、130ページの下の収支不足に陥る状況を踏まえて、今後取り組んでいくべきとする財政運営の基本原則ということで、前期計画と同様に現在の体制運営に向けて実践する取組の内容を示している。具体的な取組として、「柔軟な財政構造の保持」ということで「ビルド&スクラップ」の実践による経常事業の見直し、「将来への負担の抑制」ということで市債発行の抑制、それぞれ目標を設定しながら進めている。取組前・取組後というのは132ページの図表12、図表13だが、取組の目標値を決めており、これまで5年間前期計画の推移と今後の赤のところは何も取り組まない場合はこういう形で推移する、取り組んだ場合は青いところでこういう形で推移するという見込みを示している。</p> <p>133ページについては、何も取り組みしない場合は収支不足に陥っていたが、先ほど申し上げた取組を進めることにより、青文字のように収支不足を回避して黒字を確保できるということの推計をしている。</p> <p>133ページ下段については冒頭で申し上げたとおり、前期基本計画でも期間中においてもこうした取組を進めてきた。①②が先ほど申し上げたところだが、こういう形で毎年予算編成時には取組目標を設定して取り組んでいる。その結果として、予算という青い欄についてはこういう形になったということで見直し額の達成と、借金についても限度額を設定しているのでその設定内で行ったことを載せ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ている。その上で③④の政策財源を確保できたということ、前期計画の評価として載せている。</p> <p>最後134ページは「まとめ」である。昨年の地震等の被害に対してこれまで充実を図ってきた財政調整貯金になるが、それを活用して対応したということの表記に加え、最後のまとめとしては今後の将来にわたる市民サービスの充実、持続的発展に向けて進めていくことを記載している。そのためには、財政の健全性なしには進まないということで、ビルド&スクラップ等の実践を基本に適切に進めていくという形でまとめている。以上である。</p>
久会長	<p>いかがか。財政計画について、何かご質問ご意見はあるか。</p>
河本委員	<p>意見出しをさせてもらっている9番目だが、126ページの(1)「茨木市の財源の状況」の「決して多くはない財源の中～」というのは、わかりにくい。大阪府なり都市の平均と北摂7市の平均との比較論で書いてあるが、確かに北摂7市の財政関係もちょうど真ん中ぐらいに位置しているわけだが、比較的な表現はちょっとつかみにくい。何かわかりやすい表現にならないか。例えば「限られた財源」とか何か、茨木市にとっての理由みたいな形で表現してもらえるとわかりやすいのではないかと思い、書かせていただいた。ちょっとこれはわかりにくいので、説明を加えていただいてもよろしいか。</p>
足立課長	<p>127ページ下のグラフの左側であるが、「税等一般財源」と耳慣れない言葉だが、市の歳入の会計で言う根幹的な一般財源ということで、いわゆる家計でいう給料にあたる部分として捉えており、北摂・各市と比較している。青い部分が市税収入ということになり、まず右の「府内都市平均」で言うと、茨木市より低い、総額では茨木市より多い。これは何かと言うと、緑の部分で税が低い団体については地方交付税、国のほうの財源で賄われる制度があり、それが補填することになっている。茨木市は税はそこまで少なくはないが、緑の部分が少ないという形になっており、これは国で定められているものに基づいて出てくるが、そこまで茨木市は出てこない。そして合計としては、北摂や府内団体と比べてこの基幹的な財源となる税等一般財源が少ないということになるので、委員のご指摘は「限られた財源」ということになるが、表現としては「決して多くはない」と。茨木については財政状況が良いという中で財源があるのではないのかという指摘をよくされるが、決してそうではないということでこういう表現にさせていただいている。</p>
河本委員	<p>意見出しの10番目に関連してだが、126ページの「*コラムその1*」のところで、「予算規模は900億円台に」とある。130ページのAのところ、今後10年間の</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
足立課長	<p>歳入・歳出の見通しを書いていたが、確かに歳入が900億円ぐらいある。ただ、歳出はこの段階では850億円ぐらいの見通しになっている。これまでは700～800億円ぐらいで歳入と歳出の均衡というかバランスは経験してきたわけだが、今後この900億円台ということに対して具体的に実感がわからないという観点からの質問になってしまうが、追加で説明いただければ有難い。</p> <p>130ページの上のところ800億円台となっているが、B、C、Dも合わせた財政規模となるので、この令和元年度もそうだが900億円を超えている。社会福祉経費の増大もあり今後のプロジェクトも見込むと、財政規模としては900億円台を超えていこうと見込んでいるということになっている。</p>
久会長	<p>よろしいか。 他いかがか。</p>
畑中委員	<p>126ページの「赤字補てん債」のことだが、この3年間の臨時財政対策債の発行の状況と、一方で財源不足を補う赤字補てん債ということだが、この3年間の状況ではそういう状況にはなっていないのではないかと考えているが、そのあたりはいかがか。茨木市は赤字状況ではなく、臨時財政対策債が赤字補てんという状況にはなっていないので、そこはやはり市民にとって、現在この3年間の臨時財政対策債を発行しなくては茨木市が赤字だというような誤解を招く可能性もあるので、ここは改めるべきではないかと思う。</p> <p>それからもう1つ、財政担当課の方から127ページの図表5の説明があった。茨木市の市税等の収入は北摂7市と比べても多く、一方で地方交付税は北摂7市よりも平均からすると7割ぐらい少ないという状況である。府内の平均を見ても、市税等では16億円ぐらい茨木市のほうが多い。その一方で、地方交付税の交付額の差が非常に大きい。こういうアンバランスな、茨木市の地方交付税が何故低いのかという分析はされておられるのか、お聞きしたい。</p>
足立課長	<p>まず「赤字補てん債」の表記ということだが、これはご指摘に対する回答と対応案にも書かせていただいているが、国においても、いわゆる建設事業に対する借金になる建設債と、その他認められている特例債というのがあり、その中にも赤字国債と呼ばれる区分としてそういう区分となっている。赤字を補てんするわかりやすい表現ということになっているが、収支不足を補填するという意味もあるので、そういう表現にしている。</p> <p>それと交付税の分析ということだが、これは何か本市の作為をもってこの額が交付されているということではなく、総務省が定める様々な係数、また、本市の人口なり学校数、道路の延長等を報告する中でこの額が導き出されているので、</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
畑中委員	<p>そういった中での導き出された額というふうに捉えている。</p> <p>この3年間でどうかと言うと、やはり違う状況にあると思う。2018年度が2億円という数字が書かれているが、一方で黒字が8～9億円あるということで、全く0で赤字の財源不足で終わるという状況ではないので、改めてここはまた考え直してほしいと、改めて意見させていただく。</p>
秋元部長	<p>委員がおっしゃるように、これを出さなかったから黒字にならなかったという意味だとそうなるが、このグラフで使っているのは、先ほど財政課長が言ったように、臨時財政対策債というのが一般的に赤字を補てんする地方債であるということでここに書かせていただいている。括弧で（臨時財政対策債）と示している。</p> <p>あと、126ページの最後のところだが、2億円・5億円と少ない額の発行になるが、550億円ぐらいの税等一般財源等を確保するには、やはりそれを活用して財政運用したということになっているのでそういう意味でも捉えているのと、あと表記については赤字がこれによって黒字になったのではなく、一般的な意味として赤字補てんされている形を表記している。</p>
畑中委員	<p>市民にわかりやすくということなので、これはやはり反対に市民にわかりにくい。ミスリードを誘う。それだけ言わせてもらいたい。</p>
河本委員	<p>2点ほど確認したい。130ページの一番下の赤の中に「何も手立てを講じなければ」という表現がある。あと、129ページの③最終収支 a) で「今後、何も手立てを講じなければ」とある。ちょっと抽象的かと思い、意見出しの19番目のところに指摘をさせていただいた。その回答の中に「健全財政に向けた取組を実践しない場合は、という意味です」とある。このままそっくり入れてもらえるとわかりやすいと思うが、いかがか。</p>
足立課長	<p>同様のご指摘をいただいている部分もあるので、より丁寧な表現として「健全財政を確保するための取組を講じない場合は」という形での修正を考えている。</p>
河本委員	<p>2点目は、134ページの「まとめ」に「茨木市が赤字になる?!」とある。22番目に意見を出させていただいているが、回答として「赤字」につきましては、収支不足の際に基金を活用するという文脈の中での記載であり、一般的な表現であると考えますため～」となっている。民間的な感覚から言うと、確かに赤字補てんなり借金をしてもそれは収入になるという書き方も理解しがたいところが若干あるが、これを赤字と言うのかといつも思っている。これまでから、ここにも書</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
足立課長	<p>いてあるように基金を取り崩して、それを赤字と言われたのかどうか。そういうところの整合性を見ると、この「茨木市が赤字になる?!」という表現が適切なのかどうか。なんとなく不安だけあおるような感じがして、適切な表現はないかと思ひ書かせていただいた。追加でご説明いただきたい。</p> <p>おっしゃるように色々な表現があると思う。黒字・赤字というところが、一般的な表現という形で、冒頭にもあるのでこのような表現にさせてもらっている。</p>
久会長	<p>民間企業のお話をいただいたが、民間企業も年次決算では赤字の場合はいわゆる財産から補てんをしていって、何とか破たんを防いでいる。そういう意味で捉えていただければ、理解はしていただけると思うが。</p> <p>他いかがか。よろしいか。それでは、財政計画のお話しも以上にさせていただきます。予定していた3つの議題は、一旦これで審議を終了する。</p> <p>全体を通して、他に何かご意見あるか。</p>
豊田委員	<p>細かい点にはなるが、資料2に戻り123ページ。前期の基本計画もそうだと思うので言おうかどうか悩んだところだが、山地である北部の凡例がないところが気になった。124ページでも「③北部地域」の第2段落で「今ある環境を守り、活かし」とある。凡例の中に加えたほうが、北部地域の説明とも整合すると思う。ご検討いただきたい。</p>
福井次長	<p>指摘を踏まえて検討させていただく。</p>
久会長	<p>一番大きな面積のところの説明がないというご指摘だと思うので、またご検討いただければと思う。</p> <p>他いかがか。よろしいか。</p> <p>既に対応案ということで修正の部分をいただいているので、それはしっかりと修正をさせていただきますながら、また案としてお示ししたいと思っている。さらに今日いただいたご意見に対しても修正が必要になる部分もあったので、そのあたりは事務局と調整の上、私のほうでまとめさせていただきます。</p> <p>それでは、以上で今日予定していた案件全て終了したので、最後に事務局から連絡事項があればお願いしたい</p>
岩崎課長	<p>最後に事務局から事務連絡させていただく。</p> <p>これまでスムーズに進行していただいた結果、10月4日予備日として設けていたが、開催しないということでお願いします。</p> <p>今後の予定は、10月10日から31日まで市民の皆さまに対してパブリックコメン</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>トを行い、市民の皆さまから多様なご意見をいただきたいと考えている。そういった市民のご意見を踏まえ、市の考え方を整理したものを次回の第5回審議会の中でご審議いただきたいと考えている。また、併せてその際に答申案についてもご検討いただきたいと考えている。</p> <p>パブリックコメントの案は、本日いただいたご意見を踏まえて会長と調整し、パブリックコメントの案が出来次第、皆さまに冊子でお送りさせていただく。</p> <p>次回の第5回については、11月15日（金）に午後6時30分からこの場所で予定している。</p> <p>その時にパブコメ案の取組に対する対応案と答申案をご審議いただき、最後の第6回、11月22日（金）に答申いただきたいと考えている。</p> <p>日程について、何かご質問等はあるか。よろしいか。</p> <p>それでは、パブリックコメントをかけて、その対応も含めて次回の11月15日の午後6時30分からということで、お願いしたい。</p> <p>これで終了する。</p> <p>5 閉会</p>